

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月13日

上場取引所 大

上場会社名 サンコーテクノ株式会社
 コード番号 3435 URL <http://www.sanko-techno.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 洞下 英人
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 佐藤 静男

TEL 04-7178-5530

四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日

配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	10,854	6.2	683	67.7	662	75.0	341	90.1
24年3月期第3四半期	10,223	3.0	407	28.0	378	25.0	179	9.9

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 379百万円 (284.0%) 24年3月期第3四半期 98百万円 (△41.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	167.86	167.57
24年3月期第3四半期	88.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	13,766	7,084	50.3
24年3月期	13,504	6,767	49.1

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 6,927百万円 24年3月期 6,635百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	35.00	35.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,950	7.9	660	13.2	600	2.8	350	22.6	172.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	2,186,352 株	24年3月期	2,186,352 株
25年3月期3Q	151,669 株	24年3月期	151,593 株
25年3月期3Q	2,034,707 株	24年3月期3Q	2,034,759 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、欧米財政問題や新興国経済の減速、長引く円高など依然として不透明感が漂っておりましたが、震災からの復旧・復興を背景に緩やかに景気回復の動きが感じられました。当社グループが関連する建設市場におきましては、震災の復旧・復興需要や民間設備投資に一部明るさがみえてきましたが、東北を中心として当社主力製品が使用されるコンクリート等の建設資材の不足や人員不足による、建設コストの上昇等で工事の着工ペースが鈍っております。

このような状況のもと、当社グループでは、引き続き主力製品のあと施工アンカーの売上が好調であったほか、FRPシートの需要が堅調に推移しました。また、利益面では、製造原価の低減努力や販売管理費の節減等により、前期比で大幅に向上しました。このほか、ドリルビット等の新製品発売や太陽光発電市場向け製品の販売体制の構築と独自の施工方法を活かしたPR活動を展開してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は10,854百万円（前年同四半期比6.2%増）、営業利益683百万円（同67.7%増）、経常利益662百万円（同75.0%増）、四半期純利益は341百万円（同90.1%増）となりました。

各セグメントの業績は以下のとおりであります。

①ファスニング事業

建設資材の不足や人員不足により工事の着工に遅れがでましたが、マンションや倉庫などの建築需要の伸びを受けて、主力製品である金属系・接着系アンカーや電動油圧工具の販売が順調に推移しました。

この結果、当セグメントの売上高は8,432百万円（前年同四半期比5.6%増）、セグメント利益は622百万円（同52.0%増）となりました。

②リニューアル事業

FRPシート関連製品や外壁補修関連製品が順調に推移しました。また、太陽光関連ではメガソーラー物件の受注や中規模物件の引合いが好調に推移しました。

この結果、当セグメントの売上高は2,096百万円（同12.0%増）、セグメント利益は98百万円（前年同期はセグメント損失6百万円）となりました。

③センサー事業

電子基板関連で試験機関連製品が好調に推移しましたが、アルコール測定器の売上が伸び悩みました。

この結果、当セグメントの売上高は394百万円（同10.4%減）、セグメント損失は55百万円（前年同期はセグメント損失9百万円）となりました。

なお、数値にはセグメント間取引を含んでおります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末より261百万円増加して13,766百万円となりました。これは主として受取手形及び売掛金、たな卸資産、有形固定資産その他が増加した一方、現金及び預金、流動資産その他が減少したことによるものであります。

負債の合計は前連結会計年度末より55百万円減少して6,681百万円となりました。これは主として役員退職慰労引当金が減少した一方、支払手形及び買掛金、固定負債その他が増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末より317百万円増加して7,084百万円となりました。これは主として利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当連結会計年度における日本経済の先行きは、欧米財政問題や新興国経済の成長減速、そして円高など数多くの問題を抱えており、依然として不透明感が漂っておりますが、震災からの復旧・復興等を背景に緩やかに景気回復の動きが感じられました。建設業界におきましても、震災の復旧・復興需要や民間設備投資に一部明るさがみえてきましたが、東北を中心として当社主力製品が使用されるコンクリート等の建設資材の不足や人員不足による、建設コストの上昇等で工事の着工ペースが鈍っております。

このように、外部環境は依然として厳しい状況にあるなか、当社グループでは主に建物の維持保全分野や環境分野での需要増に積極的に取り組んでおります。環境分野においては、自然エネルギーを活用した太陽光発電事業の計画が相次ぐ中で、当社工法の強みを活かした営業活動を展開すると共に老朽化したインフラや建物などの維持補修・保全事業の需要が今後増えることが予想されます。

なお、通期業績予想につきましては、平成24年5月15日に公表いたしました連結業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び一部の国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,335,047	1,224,922
受取手形及び売掛金	2,953,551	3,072,047
たな卸資産	2,387,373	2,626,310
その他	734,833	605,129
貸倒引当金	△23,387	△4,949
流動資産合計	7,387,419	7,523,460
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,296,645	1,258,815
土地	3,009,367	3,031,207
その他(純額)	416,325	556,782
有形固定資産合計	4,722,338	4,846,805
無形固定資産		
投資その他の資産	114,387	104,574
固定資産合計	1,280,607	1,291,375
資産合計	6,117,332	6,242,755
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,013,850	1,085,373
短期借入金	3,808,493	3,751,590
未払法人税等	98,956	157,872
賞与引当金	133,414	80,338
その他	390,706	403,377
流動負債合計	5,445,421	5,478,553
固定負債		
長期借入金	21,400	3,904
退職給付引当金	925,896	976,152
役員退職慰労引当金	229,652	27,770
その他	114,601	194,946
固定負債合計	1,291,549	1,202,773
負債合計	6,736,971	6,681,326

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	768,590	768,590
資本剰余金	581,191	581,191
利益剰余金	5,684,029	5,954,357
自己株式	△244,111	△244,258
株主資本合計	6,789,701	7,059,880
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△15,629	△15,536
為替換算調整勘定	△138,959	△116,617
その他の包括利益累計額合計	△154,588	△132,153
新株予約権	—	9,411
少数株主持分	132,668	147,751
純資産合計	6,767,781	7,084,889
負債純資産合計	13,504,752	13,766,216

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	10,223,891	10,854,719
売上原価	7,089,382	7,475,189
売上総利益	3,134,509	3,379,530
販売費及び一般管理費	2,727,023	2,696,241
営業利益	407,486	683,288
営業外収益		
受取利息	8,997	5,744
受取配当金	2,589	2,348
仕入割引	35,687	31,502
投資不動産賃貸料	22,921	23,092
持分法による投資利益	1,382	2,132
その他	19,040	32,691
営業外収益合計	90,619	97,511
営業外費用		
支払利息	18,253	14,362
売上割引	66,055	73,061
その他	34,978	30,401
営業外費用合計	119,287	117,825
経常利益	378,817	662,973
特別利益		
固定資産売却益	5,192	996
特別利益合計	5,192	996
特別損失		
固定資産除却損	3,993	1,655
役員退職慰労金	—	72,162
その他	8,910	800
特別損失合計	12,903	74,618
税金等調整前四半期純利益	371,106	589,351
法人税等	181,059	236,375
少数株主損益調整前四半期純利益	190,047	352,976
少数株主利益	10,423	11,432
四半期純利益	179,623	341,543

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	190,047	352,976
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△861	93
繰延ヘッジ損益	△619	—
為替換算調整勘定	△89,871	25,952
その他の包括利益合計	△91,352	26,046
四半期包括利益	98,694	379,023
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	100,791	363,910
少数株主に係る四半期包括利益	△2,096	15,112

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額(注2)
	ファスニング 事業	リニューアル 事業	センサー事業			
売上高						
外部顧客への売上高	7,985,803	1,856,789	381,299	10,223,891	—	10,223,891
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,579	15,746	58,617	75,943	△75,943	—
計	7,987,382	1,872,536	439,916	10,299,835	△75,943	10,223,891
セグメント利益又は セグメント損失(△)	409,274	△6,792	△9,503	392,978	14,508	407,486

- (注) 1. 調整額はセグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額(注2)
	ファスニング 事業	リニューアル 事業	センサー事業			
売上高						
外部顧客への売上高	8,413,219	2,092,410	349,089	10,854,719	—	10,854,719
セグメント間の内部売上高 又は振替高	18,946	4,534	44,920	68,401	△68,401	—
計	8,432,166	2,096,945	394,009	10,923,120	△68,401	10,854,719
セグメント利益又は セグメント損失(△)	622,081	98,177	△55,218	665,041	18,247	683,288

- (注) 1. 調整額はセグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。